

第24回令和7年度大分大学 ベンチャー・ビジネスプランコンテスト

一次審査応募用紙（記入例）

提出について

・下記宛先までメールにてご提出ください。

・提出先：大分大学研究マネジメント機構産学官連携推進センター内

産学連携課（担当：加藤）

E-mail oitau-ico@oita-u.ac.jp TEL (097) 554-7981 FAX (097) 554-7740

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地

(URL <https://www.ico.oita-u.ac.jp/>)

！ 注意事項 ！

- 1 申込内容についての秘密は厳守します。ノウハウなど秘密保持が必要な事項については申込者の責任で対応してください。
- 2 審査結果については公表しますが、審査経緯・審査内容・審査員のコメント等については公表しません。
- 3 応募により「新規性が失われること」になりますが、公開後1年以内であれば、所定の手続きにより特許取得は可能です。具体的な手続きの方法は知的財産部門までお問い合わせください。
- 4 応募されたビジネスプランは2次審査に残った場合、公開資料となることをご了解の上、ご応募ください。また、応募書類の返却はしません。
- 5 特許権などの知的所有権は応募者に帰属します。必要な場合は、各自で手続きをしてください。また、他人の知的所有権の侵害により問題が生じた場合は応募者の責任になります。
- 6 ビジネスプランの応募及び発表は、日本語で行ってください。
- 7 記録や広報のため、事務局による録音・録画・写真撮影等を行い、各種の媒体に使用することがあります。
- 8 他者あるいは過去に応募したアイデアの模倣は他人の知的所有権を侵害する行為です。ただし、過去に応募したアイデアを大きく発展させたものについてはその旨を申請時に明記してください。
- 9 事業計画書の記入枠の行数は、応募者が各自で調整し3ページにまとめて提出してください。

※昨年度の九州大会の報告書に受賞者の事業計画書が掲載されています。参考にしてください。

報告書掲載ホームページ→<https://qshu-nbc.or.jp/daigaku-vbpc/>

第24回令和7年度大分大学ベンチャー・ビジネスプランコンテスト事業計画書(ビジネスプラン)

1. 事業名

(応募テーマ・事業内容を端的に20~30文字程度で記入ください)

キャッチフレーズ	
事業区分 NO	<p>※該当項目番号に○をつけて下さい。(複数回答可)</p> <p>1. 新製造技術 2. 新エネルギー・省エネルギー(省力化含む) 3. バイオテクノロジー 4. 環境・リサイクル・産業廃棄物処理 5. 住宅 6. 災害支援 7. 生活文化・生活支援・新サービス・アミューズメント 8. 医療・福祉 9. 物流・流通 10. 人材活用・教育 11. 情報・通信(インターネット関連含む) 12. ビジネス支援 13. 食品・農林水産品 14. 加工・製造技術 15. 観光資源 16. その他()</p>
SDGs	<p>※持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標の中から提案事業の内容に最も近いと思われるものを記載してください。 (例) 4. 質の高い教育をみんなに</p> <p>◆持続可能な開発目標(SDGs)について https://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sustainable-development-goals.html</p>
<p>以下の項目に該当する場合は、チェックを入れて下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> 過去に類似したプランを応募したことがある。</p> <p>※今回の申請内容が、以前のプランを大きく発展させたものである場合は、発展させた点をわかりやすく計画書に明記してください。</p>	

2. 提出者名等(グループの場合は全員)

学部・学科 (コース・プログラム)	学籍 番号	(フリガナ) 参加者氏名
学部・学科 (コース・プログラム)	学籍 番号	(フリガナ) 参加者氏名
学部・学科 (コース・プログラム)	学籍 番号	(フリガナ) 参加者氏名
教員名	※応募企画に協力してくれた教員がいる場合、記入してください。	

・応募プランの責任者(リーダー)の連絡先を記載してください。事務局から事務連絡をします。

責任者連絡先	フリガナ 氏名	T E L
	e - m a i l	F A X

3. あなたのビジネスプランの概要を簡潔(150文字程度)に文章でまとめてください。

<あなたのビジネスは、①誰に、何を、どうやって提供するビジネスですか？②あなたがこのビジネスで果たす役割は何ですか？③どうやって収益を得ますか？等の要素を盛り込んでまとめてください。>

4. ビジネスプランの具体的内容

テーマ／商品・サービスの内容、着眼点、事業化計画、事業形態、事業の将来ビジョンなど

- 新規事業は分りにくいので、第三者に理解できるように具体的に
(機能、内容、特長、技術的原理・裏づけなど)
- この事業に着眼した視点、思いついたきっかけなど
- 現在の事業化計画: 事業化目標など
- 商品・サービスの特徴(差別化、優位性、利便性など)
- 事業実施形態はどういう形なのか
- 事業の将来像: 今後の事業展開、目標など

5. ビジネスプランの新規性、便利性、独創性、特徴

- このプランの内容が実現した場合の便利性と独創性
- 自分が訴えたい特徴
- この事業の社会的背景など
- これまでの事業(他社の商品)にない新しさ
- この事業(商品)を扱うことで、お客様に提供できるメリット・利益など

6. 販売ターゲット(顧客)、予想される市場規模・市場動向、販売対象エリアの状況及びその裏づけ

販売ターゲット(ユーザー)を絞れるか、顧客をどこまでイメージして、プランを書けるか

- 市場ニーズ: 市場動向(規模、成熟度、シェア構成、購買特性、今後の成長性など)の把握
- 販売対象顧客(市場での消費者)は誰で、どのように利用するのか
- 提供する商品、サービスの内容は顧客のニーズにマッチしているのか
- 将来の市場規模とシェアについてどう見込んでいるのか。(→ビジネスとして成り立つことの立証)
- 調査資料、予測データがあれば添付してください。

※ビジネスプランの概要図(イメージ図)

●事業全体を説明する概要資料をA4 1枚で作成してください。文章のみで説明するのではなく、視覚的に分かりやすいものとしてください。(タテ)